

令和5年度 指定管理者の管理運営に対する包括評価シート【評価対象期間】
令和元年度～令和4年度

施設概要			
施設名(所在地)	山寺芭蕉記念館 山形市大字山寺字南院4223		
施設目的	市制施行100周年と芭蕉・奥の細道300年を記念し、奥の細道にゆかりの深い山寺の地に広域文化拠点施設として設置され、芭蕉の真筆のほか奥の細道関係の資料を展示すること及び関連事業を実施し、広く市民の教育、学術及び文化の発展に資することを目的とする施設。		
指定管理者(選定方法)	公益財団法人 山形市文化振興事業団(選定方法:非公募)		
指定管理期間	平成31年4月1日～令和6年3月31日		
指定管理者が行う業務	1 記念館の事業の実施に関すること 2 記念館の建物又は付属施設若しくは資料の維持管理に関すること 3 条例に規定する使用の許可、入館及び使用の制限に関すること 4 規則に規定する開館時間又は閲覧時間の変更、休館日の変更、臨時的な休館に関すること 等		
利用料金制導入の有無	有		
施設担当課	企画調整部文化創造都市課(旧:文化振興課)		
評価区分	評価項目	評価ポイント	審査委員会
管理運営の状況	人員配置	人員配置は過不足なく適切に行われたか	A
	有資格者の配置	必要な有資格者の配置は適切に行われたか	A
	資質向上	職員の資質向上を図る取り組みは適切に行われたか	A
	受付・接客	接遇向上を図る取り組みは適切に行われたか	A
	平等利用	特定の利用者を有利または不利に扱うことなく、取り扱いが適切に行われたか	A
	利用者サービス向上	利用者サービス向上を図る取り組みは適切に行われたか	A
	広報	利用者への広報は情報提供として適切に行われたか	A
	備品・建物等の管理	備品・建物等の財産の管理は適切に行われたか	A
	安全対策	利用者の安全確保の取り組みは適切に行われたか	A
	危機管理	緊急時に備えての研修・訓練等は適切に行われたか	A
	事故・苦情の対応	事故・苦情に対する対応は適切に行われたか	A
	利用の状況	開館日数	開館(日数)は適切に行われたか
開館時間		開館(時間)は適切に行われたか	A
利用人数		利用人数は目標を達成したか	B
事業実施の状況	実施回数	実施回数は目標を達成したか	A
	参加者数	参加者数は目標を達成したか	A
	事業内容	事業の内容は施設の設置目的にあう適切なものであったか	A
満足度の調査	利用者満足度の把握	アンケート等を実施して利用者満足度の把握は適切に行われたか	A
	利用者満足度向上	アンケート結果等により利用者満足度向上を図る取り組みは適切に行われたか	A
維持管理の状況	清掃(日常)	業務は計画どおり適切に行われたか	A
	清掃(定期)	業務は計画どおり適切に行われたか	A
	保守点検(日常)	業務は計画どおり適切に行われたか	A
	保守点検(定期)	業務は計画どおり適切に行われたか	A
	保安警備	業務は計画どおり適切に行われたか	A
	修繕等維持管理	修繕等は適切に行われたか	A
収支の状況	利用料金	利用料金は目標を達成したか	B
	利用料金の収受	利用料金の収受は規定の料金を適正に収受するなど適切に行われたか	A
	利用料金の減免	減免の申請手続がなされた場合、処理は適切に行われたか	A
	経費の縮減	経費縮減についての取り組みは適切に行われたか	A
	収入の増加	収入増加についての取り組みは適切に行われたか	A

施設担当課の考え方

令和2年度、令和3年度は、特に新型コロナウイルス感染症の影響により、事業内容を臨機応変に変更し実施するなど評価できる取組があったものの、利用人数が伸びなかったことは残念だった。令和3年度からは外部団体と連携した野外上映会に取り組むなど、「山寺」の立地を活かした活動を実施している点は大変評価できる。展示については、アンケートの意見を踏まえてさらに展示内容を改良してほしい。

改正された博物館法(令和5年4月1日施行)では、博物館の事業に「資料のデジタル・アーカイブ化」が追加され、また、「他館との連携」、「地域の多様な主体との連携・協力による文化観光その他の活動」の努力義務が規定された。「山寺」という地域性を活かし、社会教育施設・文化施設として地域の活力向上に貢献できるよう事業の実施に努めてほしい。また、山寺芭蕉記念館が保有する貴重な資料をより多くの人に知ってもらえるよう、さらに「資料のデジタル・アーカイブ化」を進めるとともに、様々な手段を使った効果的な広報にも努めてほしい。

包括評価の結果

全ての評価項目がB評価以上であるため、総合評価は「良好」とする。